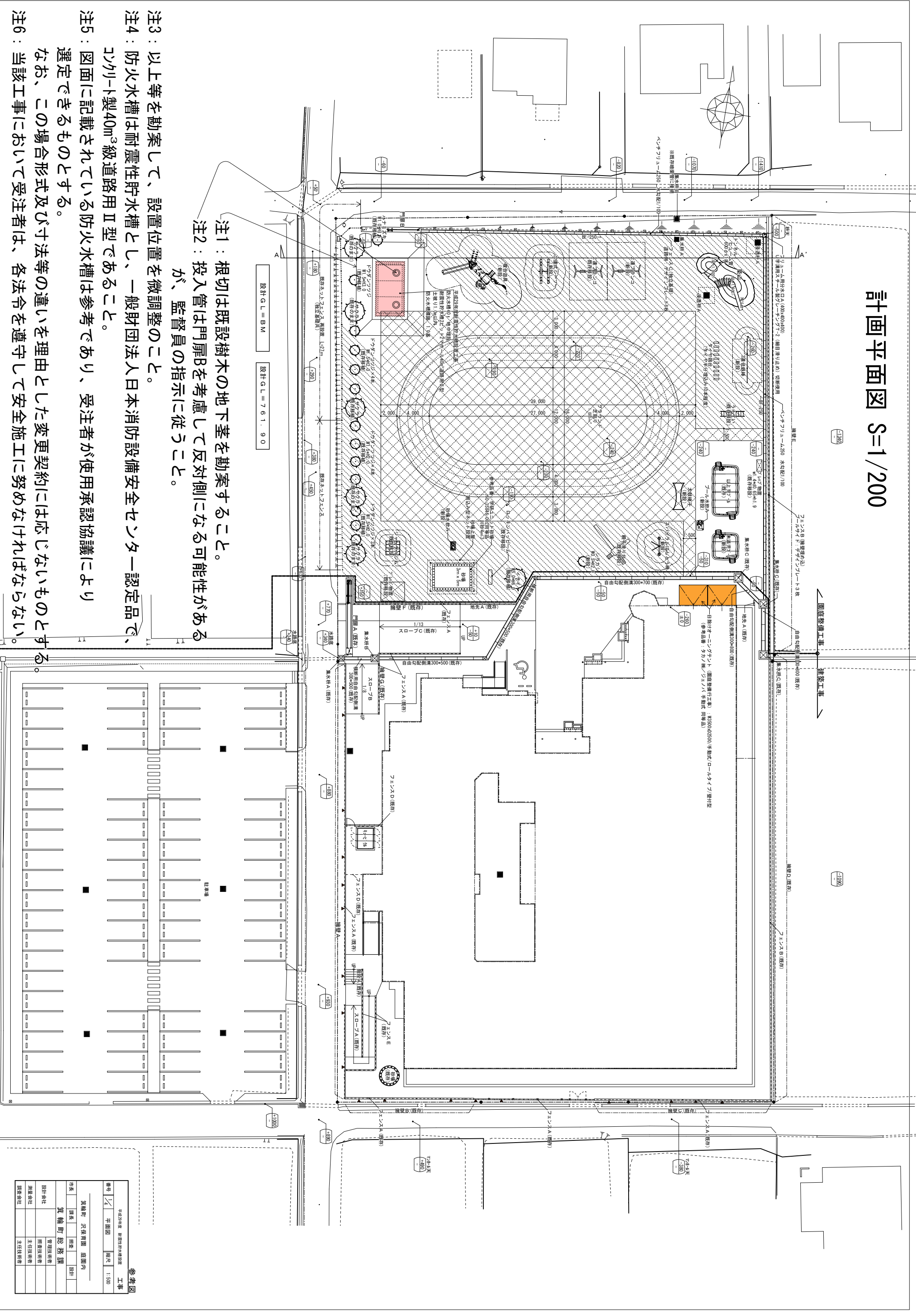


# 計画平面図 S=1/200



注1：根切は既設樹木の地下茎を勘案すること。  
 注2：投入管は門扉Bを考慮して反対側になる可能性があるが、監督員の指示に従うこと。

注3：以上等を勘案して、設置位置を微調整のこと。

注4：防火水槽は耐震性貯水槽とし、一般財団法人日本消防設備安全センター認定品で、コンクリート製40m<sup>3</sup>級道路用Ⅱ型であること。

注5：図面に記載されている防火水槽は参考であり、受注者が使用承認協議により選定できるものとする。

注6：当該工事において受注者は、各法令を遵守して安全施工に努めなければならない。

参考図

番号	1	2	3
名称	平面図	縦断	1:500
作成	設計	設計	設計
中長	岡本	岡本	岡本
実務	岡本	岡本	岡本
設計	岡本	岡本	岡本
設計会社	岡本技術者	岡本技術者	岡本技術者
測量会社	岡本技術者	岡本技術者	岡本技術者
調査会社	岡本技術者	岡本技術者	岡本技術者

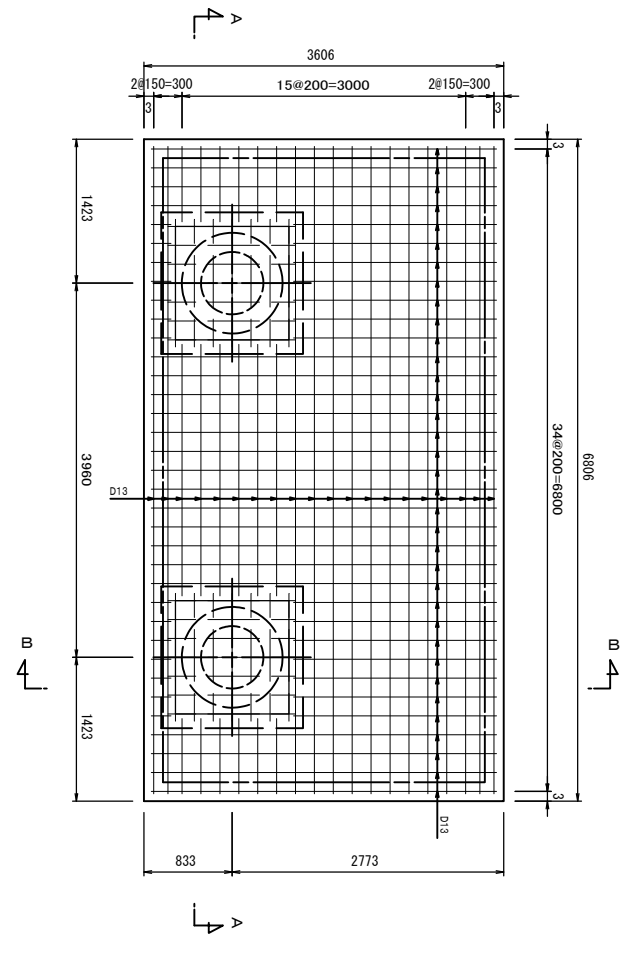
N値10未満のコンクリート等材料強度表		
材料	強度	単位 N/mm <sup>2</sup>
コンクリート (現場打ち)	設計基準強度	$\sigma_{ck} = 24$
	許容応力度	$\sigma_{ca} = 9$
鉄筋	許容応力度	$\sigma_{sa} = 180$

基礎コンクリート

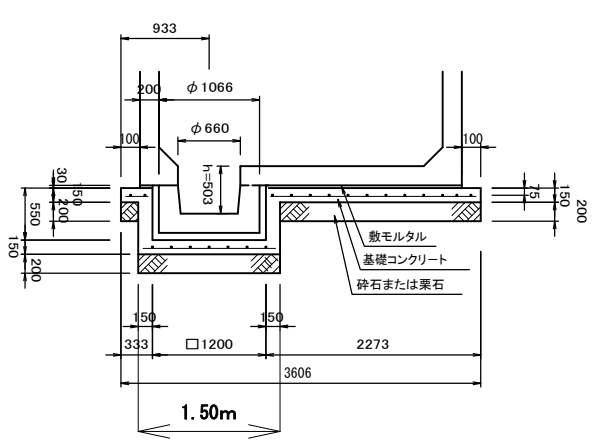
N値10以上のコンクリート材料強度は  
18-8-408B・W/C=60%以下とする。

二次製品防火水槽40?型 基礎コンクリート構造図 S=1/40

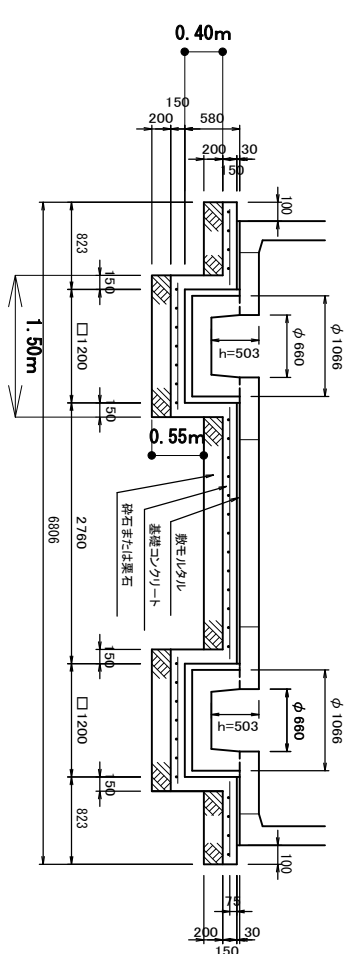
平面図



B-B断面図



A-A断面図



基礎コンクリートについて  
貯水槽の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強度な場合は均しコンクリート(無筋コンクリート)を敷本とし、地盤が比較的柔らかい(中軟のもの)場合、砂質土壌でN値が5以上10未満、又は粘土質土壌でN値が5以上8未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとすることで対応できる。又、基礎地盤のN値が5未満の場合は検討を要する。無筋コンクリートとする場合の基礎の形状寸法は、この図面に基くものとする。

(参考) 基礎地盤のN値と基礎コンクリートの関係について		
基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質土壌	10以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上10未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要
粘土質土壌	8以上	均しコンクリート(無筋コンクリート)
	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	検討が必要

\*鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

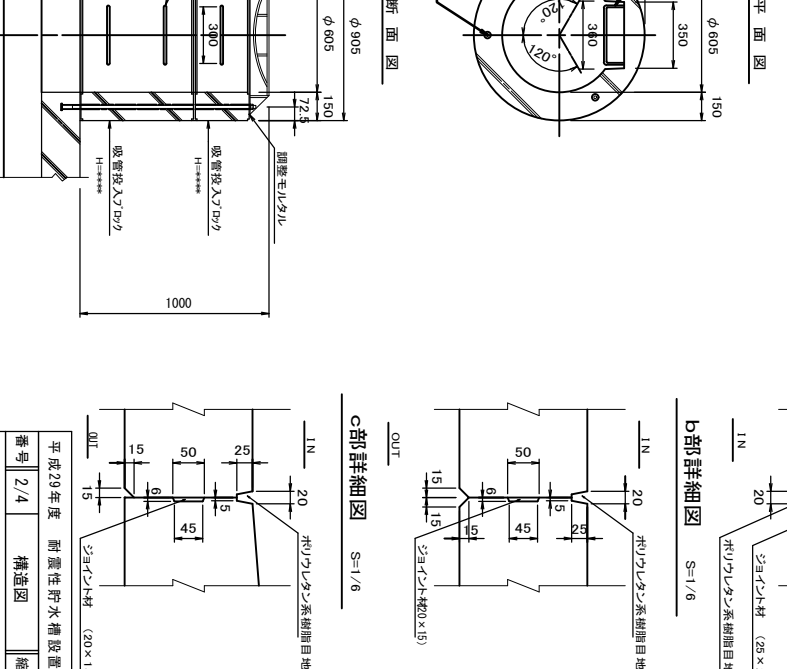
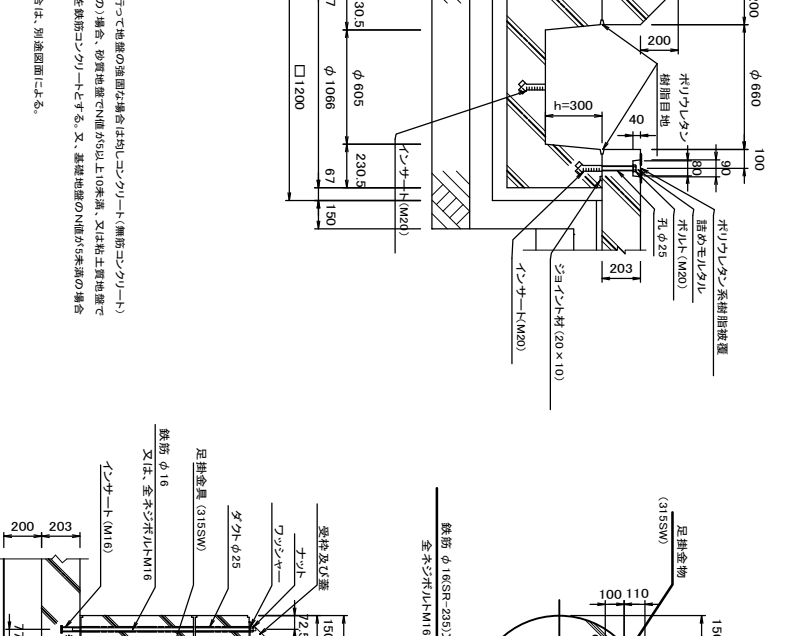
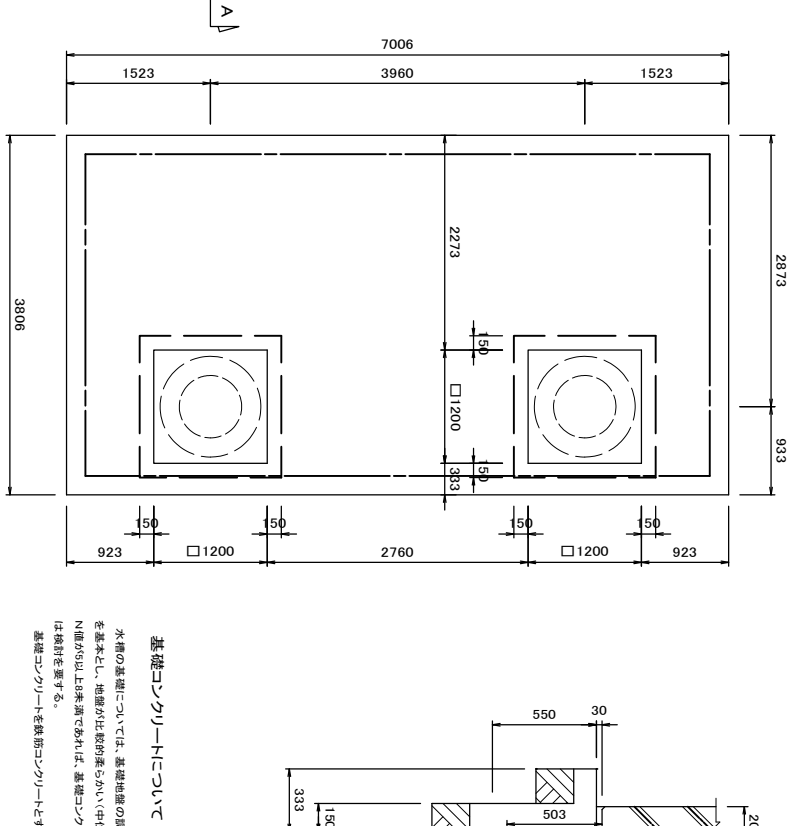
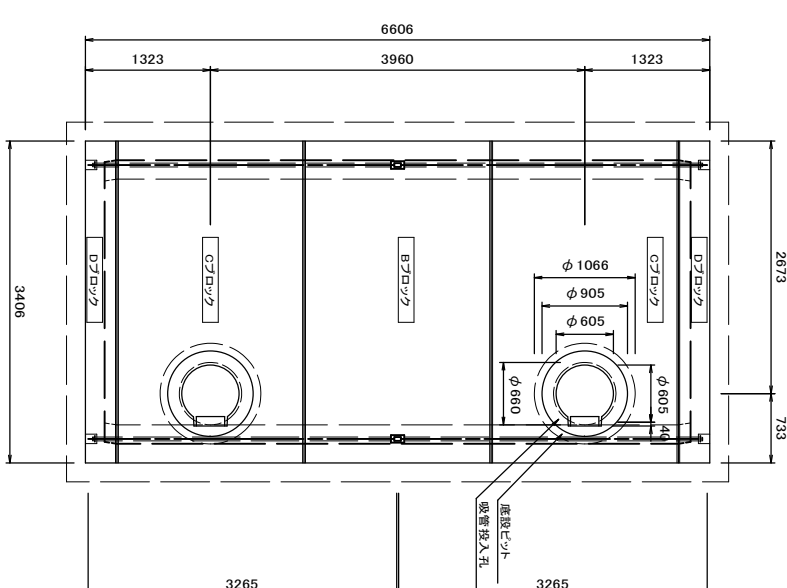
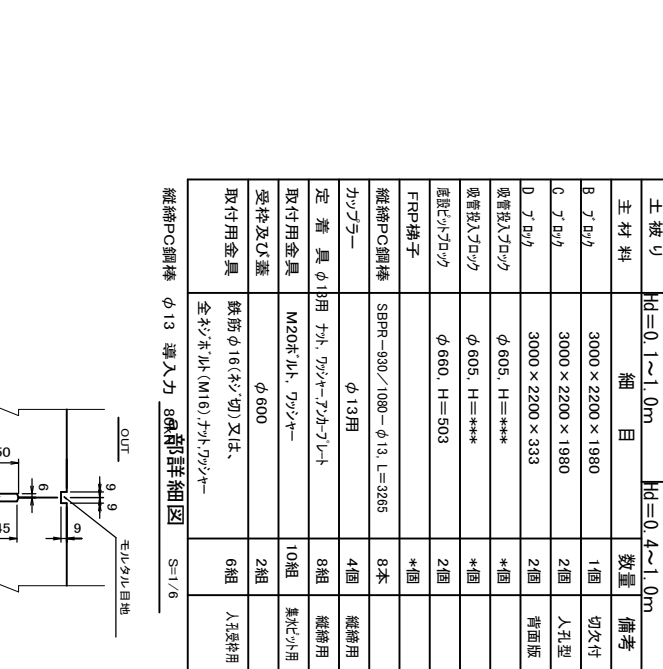
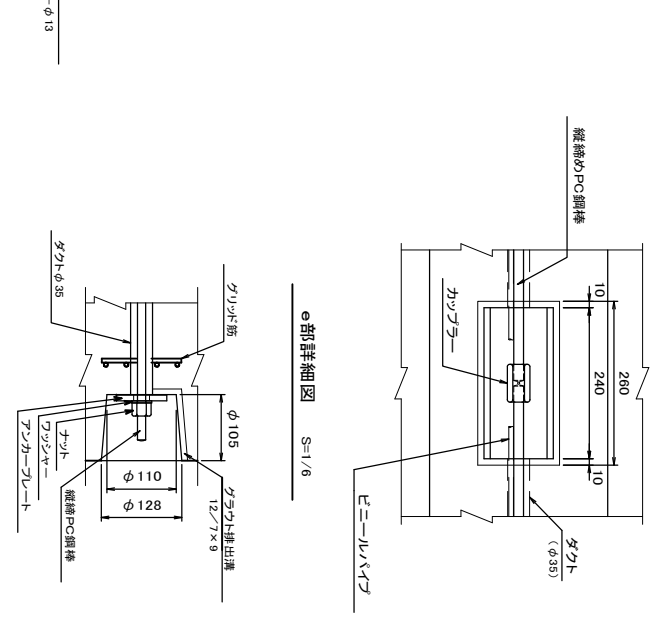
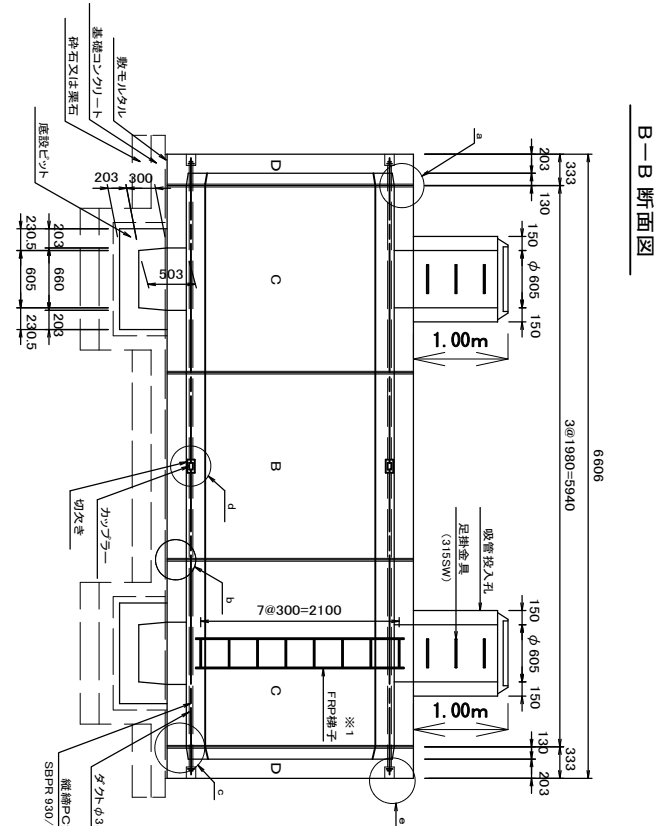
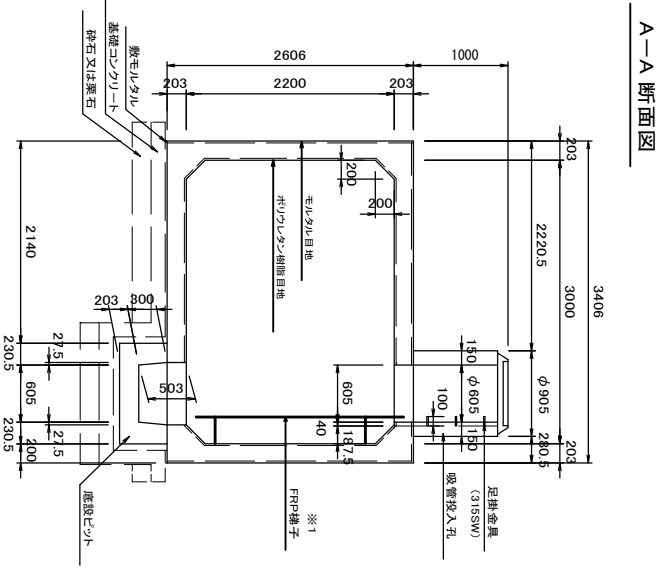
参考図

平成29年度 耐震性貯水槽設置工事	
番号	3/4 基礎コ?構造図 縮尺 1:500
実施町 沢保青園 園内	
町長	課長 照査 設計
実施町役場	
設計会社	管理技術者 照査技術者
測量会社	主任技術者
調査会社	主任技術者

注：当該工事はN値10以上と仮定しメッシュ鉄筋は施工しない。  
(スウェーデン式サウンディングを床付及び地表(2箇所合計L=2m)で実施すること)

注1 吸管投入孔の位置及び数量は変更可能。  
但し、最大寸法とする。  
※1 FRP格子は、オプションで取り付けられ、最大寸法所まで取り付けることができる。

## 二次製品防火水槽 40? 型 構造図 S=1/40

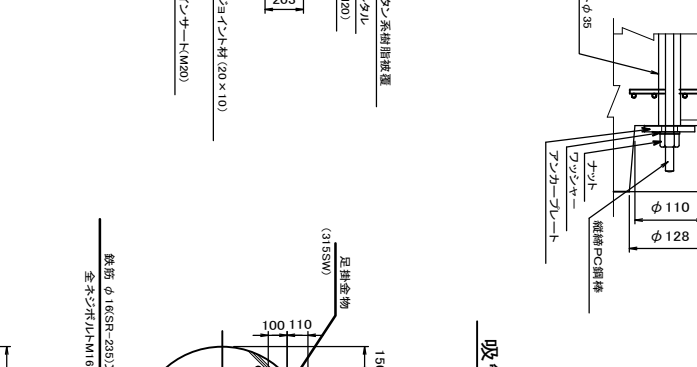
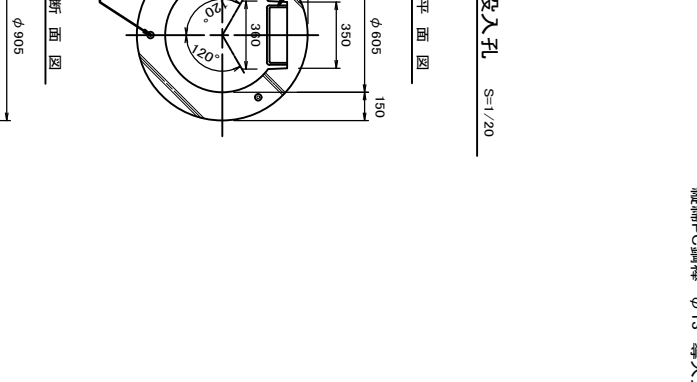
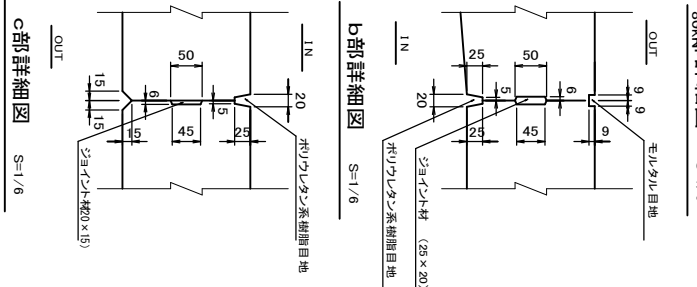


**基礎コンクリートについて**  
水筒の基礎については、基礎地盤の調査を行って地盤の強度の異なる場合は均一コンクリート(簡易コンクリート)を基本とし、地盤が比較的柔らかい(中硬のもの)場合は、軟弱地盤N値が5以上10未満、又は粘土質軟弱地盤N値が5以上10未満であれば、基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとし、X、基礎地盤のN値が5未満の場合は鉄筋を要する。  
基礎コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合は、別途図面による。

基礎地盤	N 値	基礎コンクリート
砂質土層	10以上	均一コンクリート(簡易コンクリート)
	5以上10未満	鉄筋コンクリート
	5未満	後付けが必要
	8以上	均一コンクリート(簡易コンクリート)
粘土質土層	5以上8未満	鉄筋コンクリート
	5未満	後付けが必要

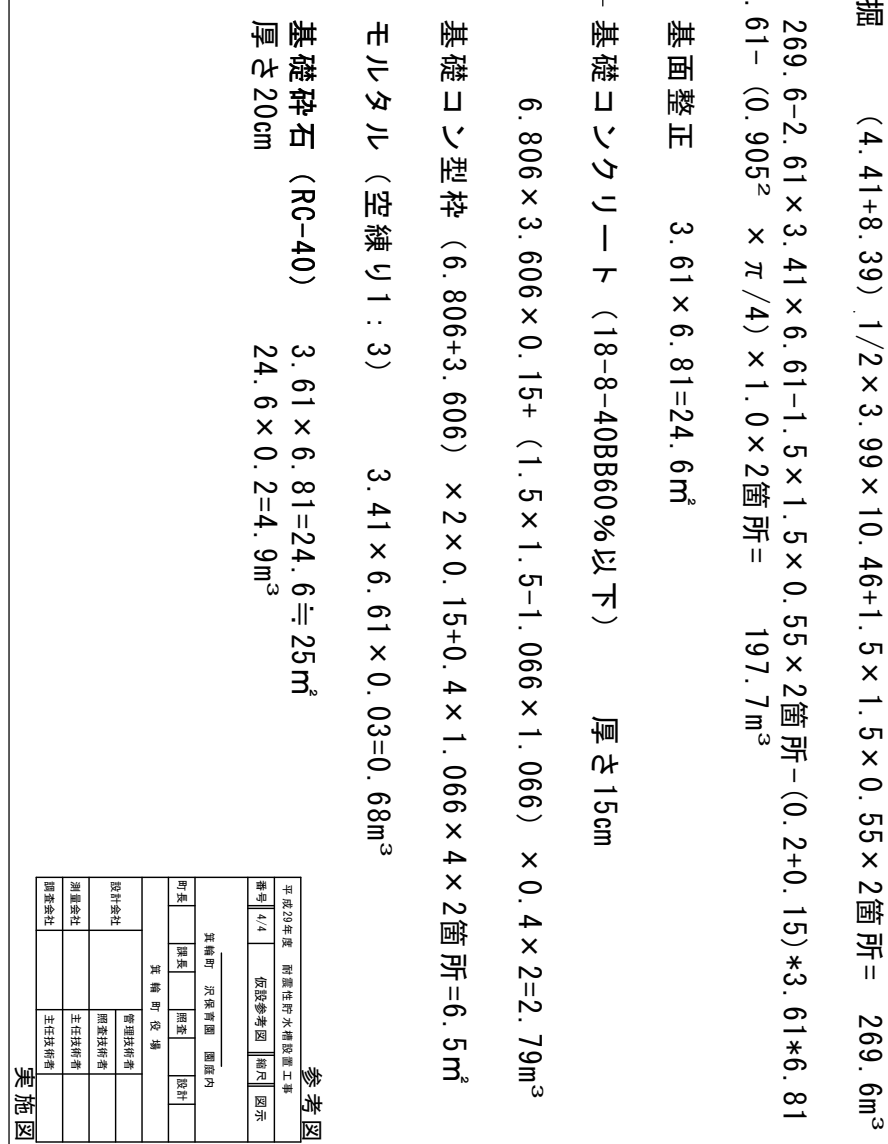
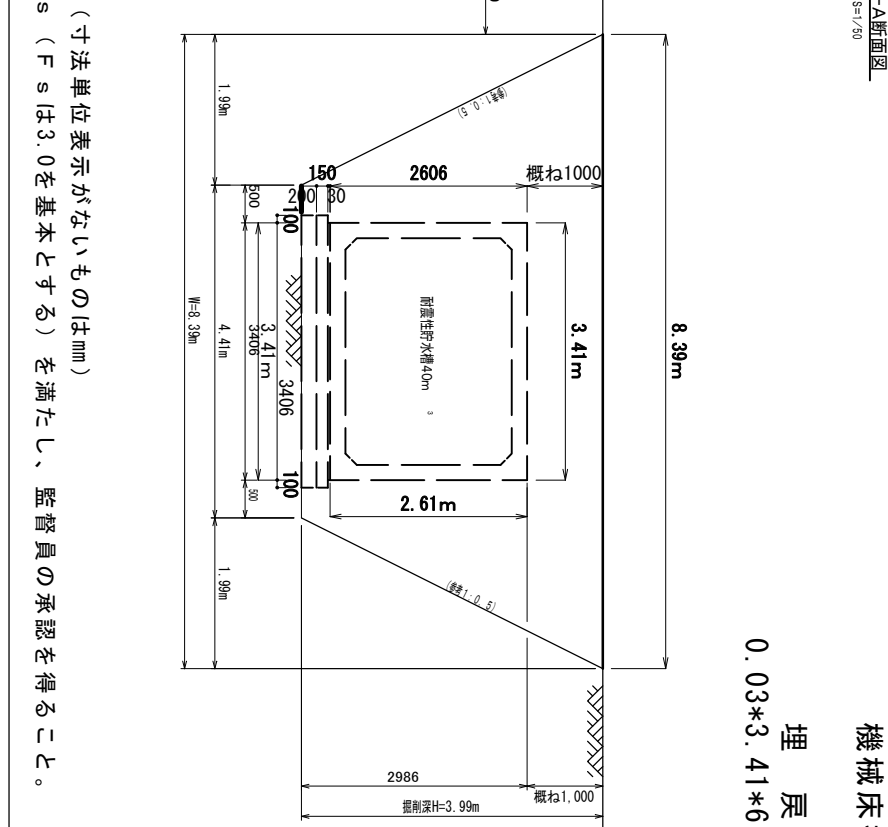
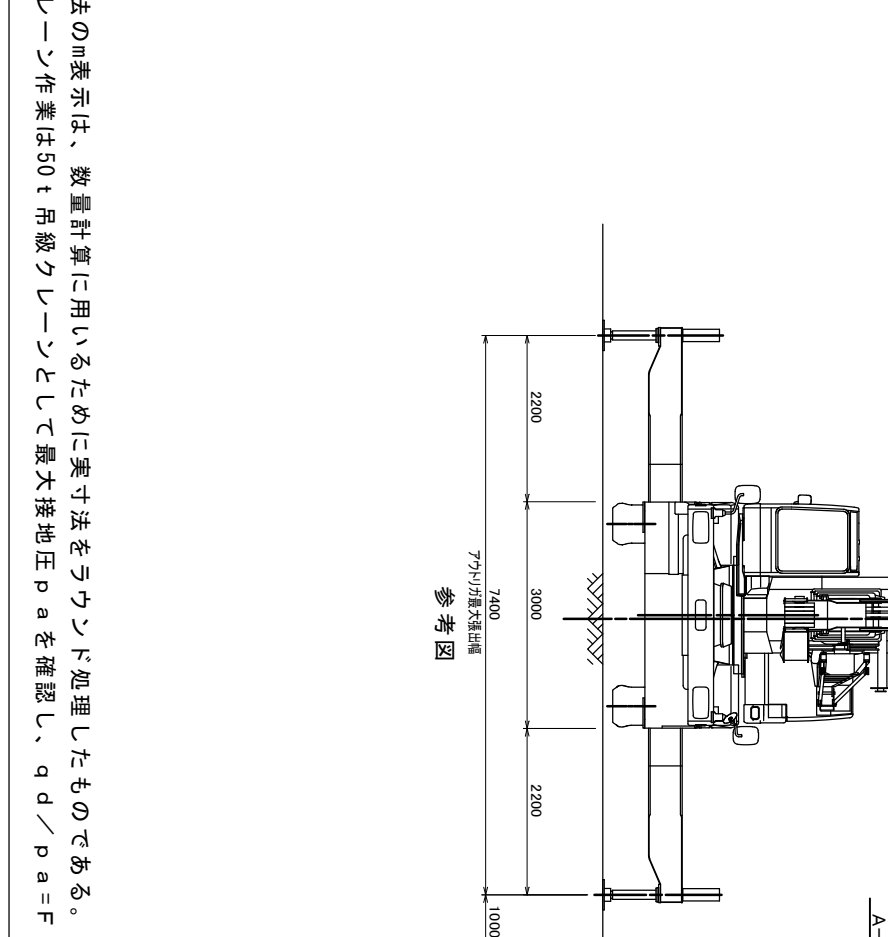
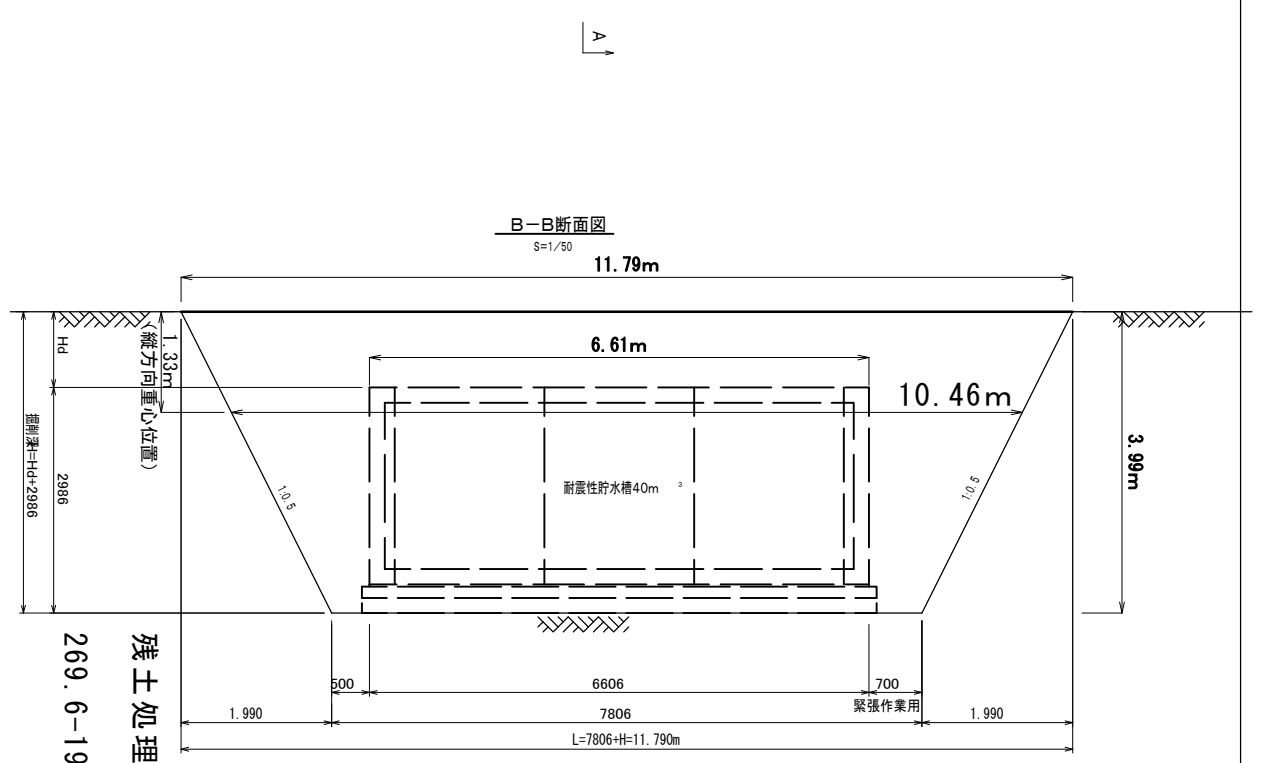
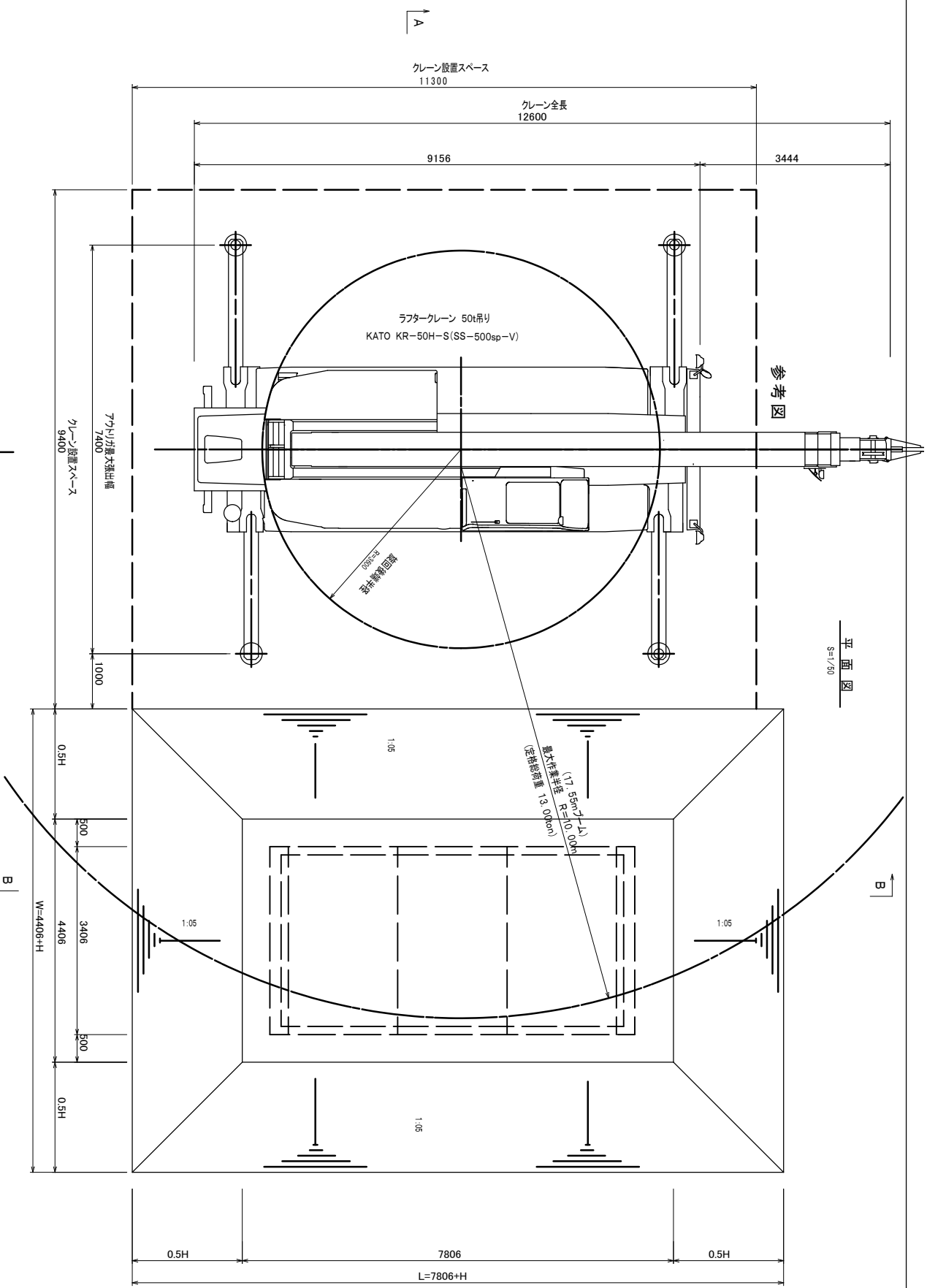
\* 鉄筋は、SD295またはSD345を使用する。

二次製品防火水槽 (40m <sup>3</sup> ) 明細書	
型式記号	ASH-322-I 型N-01/1.0 ASH-322-II 型N-01/1.0 ASH-322-III 型N-04/1.0 防-84100-1号
設置場所	I型(空地) II型(遊歩) III型(道路用)
容量	40 ?
荷重	10 kN/m <sup>2</sup> T-20 H <sub>d</sub> =0.1~1.0m T-25 H <sub>d</sub> =0.4~1.0m
土被り	細目
主材料	3000×2200×1980 1個 切欠付 3000×2200×1980 2個 人孔型 3000×2200×333 2個 青面版 φ605, H=*** *個 φ605, H=*** *個 φ660, H=503 2個 FRP格子 *個 縦筋PC鋼棒 SBR-930/1080-φ13, L=3265 8本 カットラー φ13用 4個 縦筋用 定着 具 φ1用 カット ライヤ-アクリレート 8組 縦筋用 取付用金具 M20x16ルト, ワッシャー 10組 集材用 受枠及び蓋 φ600 2組 取付用金具 全ネジボルト(M16)ナットワッシャー 6組 人孔蓋用



## 参考図

平成23年度 耐震性貯水構設置工事	
番号	2/4 構造図
縮尺	1:500
実働町 沢保実園 園内	
町長	課長
副町長	副課長
管理技術者	設計
設計会社	調査技術者
調査会社	主任技術者
調査会社	主任技術者



機械床掘 (4.41+8.39) 1/2 × 3.99 × 10.46+1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所 = 269.6m<sup>3</sup>

埋戻 269.6-2.61 × 3.41 × 6.61-1.5 × 1.5 × 0.55 × 2箇所-(0.2+0.15) × 3.61 × 6.81  
 0.03 × 3.41 × 6.61 - (0.905<sup>2</sup> × π/4) × 1.0 × 2箇所 = 197.7m<sup>3</sup>

基面整正 3.61 × 6.81 = 24.6m<sup>2</sup>

基礎コンクリート (18-8-40BB60%以下) 厚さ15cm

6.806 × 3.606 × 0.15 + (1.5 × 1.5 - 1.066 × 1.066) × 0.4 × 2 = 2.79m<sup>3</sup>

基礎コン型枠 (6.806+3.606) × 2 × 0.15 + 0.4 × 1.066 × 4 × 2箇所 = 6.5m<sup>2</sup>

モルタル (空練り1:3) 3.41 × 6.61 × 0.03 = 0.68m<sup>3</sup>

基礎砕石 (RC-40) 3.61 × 6.81 = 24.6m<sup>2</sup>

厚さ20cm 24.6 × 0.2 = 4.9m<sup>3</sup>

参考図

平成29年度	耐震性の水補修工事
冊別 4/4	仮設参考図 補尺 図示
基礎的 尺貫重 箇内	
町長	副町長
管理技術者	副管理技術者
調査技術者	主任技術者
調査会社	調査会社
調査会社	主任技術者

注：寸法のm表示は、数量計算に用いるために実寸法をラウンド処理したものである。(寸法単位表示がないものはmm)  
 注：クレーン作業は50t吊級クレーンとして最大接地圧paを確認し、 $q_d/p_a = F_s$  ( $F_s$ は3.0を基本とする)を満たし、監督員の承認を得ること。

実施図